

科目名	専門演習ⅡB	
担当者	畑井 清隆 / HATAI, Kiyotaka	
科目情報	法律 / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 4年次	
	読替科目:平成23年度以前入学生「専門演習Ⅱ」(ただしⅡAも修得すること)	
科目概要	授業内容	ゼミ参加者は、事前に判例及び教科書を読んだうえで、参加し、授業では、判例担当者が、判例の事実、判旨、コメントについて、レジュメを基に報告する。その後、その判例について、全員で、質問し、議論する。
	到達目標	①判決書を正確に読むことができる。 ②判例評釈を作成できる。
授業計画	(1) 年少者・女性 (2) 安全衛生 (3) 労災補償 (4) 労災保険 (5) 再就職と引退 (6) 「非典型」雇用・外国人雇用 (7) 労働法のアクター (8) 労働組合 (9) 団体交渉 (10) 労働協約 (11) 争議行為 (12) 不当労働行為 (13) 労働紛争の解決手段 (14) 労働法の適用 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・判例、教科書を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・判例を報告した後、判例評釈を作成し、提出すること。
使用教材・参考文献	【教】水町勇一郎『労働法(第4版)』有斐閣 2012年4月(刊行予定)	
成績評価方法と基準	<基準>報告・判例評釈が基礎的水準に到達している場合に合格とする。 <方法>報告(10点) + 質問・議論(5点×15回) + 判例評釈(15点)で評価する。	
備考		